

コロナ禍の中で思うこと…

「コロナ禍」という聞きなれない言葉が世の中に広まりはじめて約5か月。最初は慣れなかつたマスクも、今は当たり前のような感覚でサッと着用しています。

この期間中、様々な体験を通して感じたことがあります。それは「人と人の繋がり」の有難さです。

仕事があること、子供が学校に行くこと、離れた親族・友達に会えること、旅行に行くこと。当たり前でできていたことができなくなり、溜まっていく疲労とストレスと不安。しかし、それらは子供のマスクを送ってくれた友人や小学校の休校中にお世話になった学童保育の先生方に感謝を伝え、自分にもできることを考える時間を持つことによって少しずつ解消していきました。

まだ先が見えない状況ですが、感謝の心を忘れずにがんばっていききたいと思っています。

廣瀬 早織

新型コロナウイルスも怖いけど熱中症も怖いですね!!

この夏1ヶ月位で1,000人位の方が熱中症で亡くなり、コロナで亡くなった方は今迄で1,000人を越えたみたいです。熱中症は来月にもなると無くなってきますが、コロナはいつまで続くのか分からないので心配です。

最近、私達の年代になると終活する方が増えてきているように聞きます。先日、友人と電話で話したのですが、友人が「自粛生活なので終活を兼ねて要らないものを沢山捨てていったので、家中がさっぱりしたよ。押し入れもスッキリしたよ。」と言うので、私が「もう捨てる物が無いからと言ってお父さん(主人)迄捨てたら駄目だよ」と言うとう主人も「わしもそのうち捨てられそうやのう」と言っていたそうで大笑いになりました。

私の終活は死んだら良い所に行けるように(?)と仏教の勉強を始めました。お釈迦様の説かれた仏法をお寺に行くのではなく、スマホやタブレットで聞かせて頂いています。聖徳太子や一休さんの話などもあり楽しいです。

自粛生活で一番心配な事は、ますます歩く事が少くなり脚力が無くなってきた事です。

早く元の生活に戻れると良いですね。又 皆に会いたいなあ!!

宮脇 泰子

4月下旬コロナ禍の中、骨折をしてしまい2ヶ月の間動けないという生活を過ごしました。その間、読書に耽ったのですが、私は時代小説が好きで、特に江戸時代が好きです。一日中小説を読んでいると、望遠鏡で、その時代に生活をしている人々を覗いているような感覚になりました。

マッチすら無いので、夏でも火鉢があり、井戸での洗い物や、川まで行ってする洗濯の様子になったりすると、今の私の生活は、衣食住を、文明の利器に頼りすぎているなあと、つくづく実感しました。そして文明の利器は私から生きるための知恵を、取り上げたりはしていないのだからかかとふと思ってしまいました。なのに、リモコン操作でエアコンを調整している私です。

半田のひとりごと



毎日、大変暑い日が続きますが、皆様いかがお過ごしですか。

今年は新型コロナウイルスが発生し、今までとはまったく違う生活になり、不安な日々を過ごしています。

人ごみに出ることが出来ないで、家の中で運動するようにしたのですが、私も慎之介もあまり気のりせず、三日坊主になります。それなら、人のあまりいない公園に行って散歩したりしていました。ただ暑くなり、それも出来なくなり今は実家が海のすぐ近くなこともあり、海水浴に休日は行っています。

「さら」の活動も再開となり、参加したいとは思いますが、もう少し様子を見てからと思っています。以前の様に気軽に参加出来る状況になることを本当に願っています。

皆様、手洗い・うがいをしっかりとって乗り越えていきましょう!! 久米 志保・慎之介

今年の新型コロナウイルスによる自粛期間中は、どこにも外出できず、息子の大学の授業も始まり、行事も次々と中止になり、家族みんなストレスがたまって大変でした。そんな中、少しでもストレスを発散しようと、美味しい物を食べ、プチ贅沢をしました。

自粛期間が明け、学校も始まり、感染対策をしっかりとりながら、「さら」の行事にも参加できるようになり、少しずつ気が晴れてきたように思います。さらスポーツクラブで、コミュニケーションを取れる場所があり良かったなど、つくづくありがたいと思いました。

これからも、たくさんの方の行事に参加できることを親子で楽しみにしています。 森岡 志織

編集後記

新しい生活様式にも少しずつ慣れてきた今日この頃です。これまでの人生の中で一番清潔で、周りの物もきれいにしているとはっきり断言できます。

私の職場では様々な行事が新型コロナウイルスの影響で中止となっていました。6月からは対策をとった上で小規模の行事を再開し、8月からは中規模の行事も再開しました。参加者の方からは「色々な行事が中止になる中でありがたい。」との声が聞かれました。心身の健康のためにも参加の機会を待っている方が多くいらっしゃる事がわかりました。

さらスポーツクラブでもイベントを再開しています。参加者の皆さんにも協力いただきながら、できる限りの対策をとっています。また皆さんに会えること、一刻もはやいコロナの終息を祈っています。

光吉

さらスポーツクラブが目指しているもの

全ての人(子どもから高齢者に至るまで、障がいの有無に関わらず)が能力に関わらず生涯に渡り、気軽にスポーツ文化活動に携われる環境の場を提供すること、また世代や障がいの枠を越えた交流を通じて相互理解を深めることにより、つながりを持ちお互いの可能性を広げることを目的としています。

ご意見・ご感想: ☎087-813-5016 E-mail sara.takamatu@nifty.com

発行責任者: 高岡憲美・光吉直哉・中田賢二

